

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農工商連携	○	農・林・水産業	○
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	○	環境	◎
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		ぜんようじ さちこ				
氏名		善鷹蒔 幸子				
所属	名称	株式会社 JFIT-Link				
	役職	取締役副社長 COO				
連絡	住所	(公開)	〒 105-0001			
			東京都港区北青山 3-3-7 第一青山ビル 2 階			(職場)
	連絡先	(公開)	E-mail info[アットマーク]jfit-center.co.jp			
		(公開)	TEL 050-3816-5070		FAX 03-6452-9454	
連絡方法		-				
略歴		1966 年 東京都生まれ。 1998 年 一級建築士を取得。一級建築士事務所オーガニックテーブルを設立。 2001 年 オーガニックテーブル株式会社として法人化。代表取締役となる。 2003 年 環境省 NGO/NPO・企業環境政策提言で「学校エコリノベーション&環境教育」が優秀提言に選定され、モデル事業化。政策コンサルタント業務を開始する。 2006 年 株式会社エコエナジーラボ、設立。環境省「学校エコ改修と環境教育事業」のサポート事務局を務める。 2007 年 一般社団法人環境ビジネスウィメン創設メンバーとして、事務局長を務める。環境ビジネスコンテスト「eco japan cup」を運営支援。 環境ビジネスベンチャーの育成支援にも従事。 2013 年 一般社団法人環境ビジネスウィメン解散。 2014 年 日本の地域活性化のための一次産業、六次化支援として、地域活性化等に取り組む有志が出資し、株式会社日本農水産食品輸出貿易センター設立に参画。 2017 年から、UR 都市機構及び関係企業と公民連携協働による地域活性化のための地方と団地を繋ぐプロジェクトとして、産直販売の可能性調査を実施。 2019 年より、上記の実践調査として産直販売イベントを実施。 2020 年 9 月、株式会社日本農水産食品輸出貿易センターが株式会社 JFIT-Link に社名変更。 現在、同社の取締役副社長 COO、企画担当。 《所属委員会等》 UR まちづくり支援専門家				
著作・論文等		著書 幻冬舎 政策コンサルタントが教える 官民連携協働事業のつくり方				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

取組概要	《地域の賑わいづくり・地域活性化》 ・都会の団地と地方の生産者を繋げ、高齢者対策と地域活性化の両方の課題解決に向けた「団地の産直ぶちマルシェ」の企画、FS調査。現在は、UR歳機構の事業として、全国の団地で「ぶちマルシェ」を実施中。 ・日本酒の共通ブランド「いと恋し」を企画し、地方の小さな酒蔵の拘りをギフト商品として紹介し、酒蔵の地域での取り組みを伝える活動を行う。2023年現在、5県の酒蔵と提携している。 ・UR歳機構のCSR事業として、URリンケージ中部支社との共同研究事業として、愛知県名古屋市の栄地下街で実施される地方の地域活性化支援のためのマッチングスペース(イベントスペース)の企画提案を行い、開設準備に従事。 それら、コンテンツを軸にまちづくりの支援を行う		
メッセージ	政策のコンサルタントとして、環境まちづくりやビジネスベンチャー育成、地域の社会問題を解決するための新しい公共の在り方の検討等の官民連携協働事業の企画や運営支援に関わってきました。 地域を元気にするまちづくりとはどうあるべきか。それぞれの地域に誇れるもの、価値のあるモノ、コトはあってもなかなか内部の人達だけでは、それを貨幣価値にできないケースが多いこと。人材不足もあります。作る人はいても売る人がいない、物が良くても、それを対外的に知らせるすべを持つ者がいない。いや、いるけど知り合っていないケースも多々あります。 実に勿体ない。繋がれば、経済が生まれるかもしれない。地域の活性化は、地域の人達が自立的に稼げる環境をどう地域の人達と創りあげていくか、それを実現するために地域内外、様々な職種の人達や企業をどう繋げていくか、それに尽きと思っています。 言葉でアイデアを出しても、具体化しなければ意味がありません。それを痛感し、今はその具体策を実行し、地域、地域が連携することでそれぞれの地域の経済価値を増幅する仕組みの実現を目指し、取組んでいます。		
関連ホームページ	https://jfit-link.com/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。